

殺菌剤

マンネブ水和剤

サンケイ エムダイファー[®] 水和剤

農林水産省登録 第 10559 号

性状：淡黄緑色水和性粉末45 μ m以下

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

有効年限：500g、1kg=4年 10kg=3年

包装：500g × 40、1kg × 20、10kg

有効成分：マンネブ (PRTR・1種)・・・75.0%

殺菌剤分類 **M3**

エムダイファー[®]はクミアイ化学工業㈱の登録商標です。

特長

○有機硫黄系の殺菌剤で、予防効果に優れ、広範囲の病害に高い効果が期待できます。

適用病害虫名および使用方法

| 作物名 | 適用病害虫名 | 希釈倍数 | 10アール 当り使用液量 | 使用時期 | 本剤の 使用回数 | 使用方法 | マンネブを含む 農薬の総使用回数 | |
|---------------------|----------------------------|----------|--------------------|----------------|-------------|------|---------------------|-------|
| かんきつ (みかんを除く) | 黒点病 小黒点病 | 600～800倍 | 200～ 700 ℓ | 収穫 90 日前 まで | 2 回以内 | 散布 | 2 回以内 | |
| みかん | | | | 収穫 60 日前 まで | | | | |
| りんご | 黒点病 | 400～650倍 | 100～ 300 ℓ | 収穫 30 日前 まで | 1 回 | | | 1 回 |
| なし | 赤星病 | | | 収穫 45 日前 まで | 3 回以内 | | | 3 回以内 |
| かき | 落葉病 炭疽病 | | | | 2 回以内 | | | 2 回以内 |
| ばれいしょ | 疫病 | | | 7 回以内 | 7 回以内 | | | |
| とうき | べと病 | 600 倍 | 100 ℓ | 収穫 14 日前 まで | 4 回以内 | | | 4 回以内 |
| ばら きく カーネーション | 灰色かび病 べと病 炭疽病 さび病 | 400～650倍 | 100～ 300 ℓ | 発病初期 | 8 回以内 | | | 8 回以内 |
| チューリップ | 褐色斑点病 | 500 倍 | | | | | | |

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ぶどうには、時期により薬害のおそれがあるのでかからないように注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液と銅剤及びアルカリ性の強い薬剤と混用はしないでください。
- 夏期高温時には、うり類の種類により薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。また、花き類などについてもビニールハウス栽培などによる高温多湿の条件下では幼苗に薬害を生じることがあるので、十分注意して使用してください。
- 銅を含む薬剤との連用は薬害のおそれがあるのでさけてください。
それらの薬剤との散布間隔は7日以上おいてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんできよく洗い落としてください。

- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- この農薬は、高温あるいは吸湿しやすい条件下では分解して効果が低下するので直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。